

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

静岡県知事 川勝 平太 殿		産業廃棄物処理計画書 令和 4 年 5 月 13 日
提出者 住 所 静岡県富士市浅間上町15番36号 氏 名 溝口瀬谷レミコン株式会社 吉原レミコン工場 取締役工場長 佐野 直人 電話番号 (0545) 52-5237		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	溝口瀬谷レミコン株式会社 吉原レミコン工場	
事業場の所在地	静岡県富士市浅間上町15番36号	
計画期間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月 31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	生コンクリート製造・販売業	
② 事業の規模	製品売上 41,300万円	
③ 従業員数	17人	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	製品出荷 → 現場(得意先)戻りコンクリート → 工場(中間処理) → 運搬受託者 → 処分受託者	

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

溝口瀬谷レミコン(株)吉原レミコン工場  
工場長(公害防止管理者)TEL0545-52-5237



運搬受託者 斎藤興業(株) TEL0544-58-4784



処分受託者 斎藤興業(株) TEL0544-58-4784

(社内係長)

公害防止課課長(主任)

公害防止管理課  
(主任) 中野 隆  
環境対策課(主任) 長谷川 隆夫

公害防止課主任(主任)

水質

(水質課長) 斎藤 隆夫  
水質課長(主任) 斎藤 隆夫  
水質課長(主任) 斎藤 隆夫  
水質課長(主任) 斎藤 隆夫

騒音

(騒音課長) 斎藤 隆夫  
騒音課長(主任) 斎藤 隆夫  
騒音課長(主任) 斎藤 隆夫  
騒音課長(主任) 斎藤 隆夫

振動

(振動課長) 斎藤 隆夫  
振動課長(主任) 斎藤 隆夫  
振動課長(主任) 斎藤 隆夫  
振動課長(主任) 斎藤 隆夫

廃棄物

(廃棄物課長) 斎藤 隆夫  
廃棄物課長(主任) 斎藤 隆夫  
廃棄物課長(主任) 斎藤 隆夫  
廃棄物課長(主任) 斎藤 隆夫

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和3年度)実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	1,800.00 t

①現状

(これまでに実施した取組)

- ・製造工程上支障が出ない様に予防処置を施し、不良品を出さない様にする。
- ・産業廃棄物の再生利用技術の情報を集め、再利用を検討する。

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	1,650.00 t

②計画

(今後実施する予定の取組)

- ・従業員・取引業者に再度ミキサー車洗浄の節水をお願いし、節水をシステム化する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・1種類のみにて取組なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・1種類のみにて取組なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	<p>【前年度（令和 3 年度）実績】</p> <table border="1"> <tr> <td>産業廃棄物の種類</td> <td>コンクリートくず及び陶磁器くず</td> </tr> <tr> <td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td> <td>- t</td> </tr> </table> <p>(これまでに実施した取組)</p>	産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び陶磁器くず	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び陶磁器くず					
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t						
②計画	<p>【目標】</p> <table border="1"> <tr> <td>産業廃棄物の種類</td> <td>コンクリートくず及び陶磁器くず</td> </tr> <tr> <td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td> <td>- t</td> </tr> </table> <p>(今後実施する予定の取組)</p>	産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び陶磁器くず	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び陶磁器くず					
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	<p>【前年度（令和 3 年度）実績】</p> <table border="1"> <tr> <td>産業廃棄物の種類</td> <td>コンクリートくず及び陶磁器くず</td> </tr> <tr> <td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td> <td>- t</td> </tr> <tr> <td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td> <td>30,930.00 t</td> </tr> </table> <p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミキサー車の洗浄水の使用量を極力減らす様に指示し、カメラにて実施状況を確認した。</li> </ul>	産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び陶磁器くず	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	30,930.00 t
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び陶磁器くず					
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	30,930.00 t						
②計画	<p>【目標】</p> <table border="1"> <tr> <td>産業廃棄物の種類</td> <td>コンクリートくず及び陶磁器くず</td> </tr> <tr> <td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td> <td>- t</td> </tr> <tr> <td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td> <td>29,380.00 t</td> </tr> </table> <p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にミキサー車の洗浄水の使用量をチェックし、使用量が増えない様に管理する。</li> </ul>	産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び陶磁器くず	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	29,380.00 t
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び陶磁器くず					
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	29,380.00 t						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 3 年度）実績】		
産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び陶磁器くず	
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び陶磁器くず	
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 3 年度）実績】		
産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び陶磁器くず	
全処理委託量	1,800.00	t
優良認定処理業者への処理委託量	-	t
再生利用業者への処理委託量	1,800.00	t
認定熱回収業者への処理委託量	-	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	t
①現状	(これまでに実施した取組)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造工程上支障が出ない様に予防処置を施し、不良品を出さない様にする。</li> <li>・産業廃棄物の再生利用技術の情報を集め、再利用を検討する。</li> </ul>	

【目標】		
産業廃棄物の種類	コンクリートくず及び陶磁器くず	
全処理委託量	1,650.00	t
優良認定処理業者への処理委託量	-	t
再生利用業者への処理委託量	1,650.00	t
認定熱回収業者への処理委託量	-	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	t
(今後実施する予定の取組) ・定期的にミキサー車の洗浄水の使用量をチェックし、使用量が増えない様に管理する。		
②計画		
※事務処理欄		